

患話休題

かんわきゅうだい

73



院長
真崎 雅和



これって舌がん？

芸能人が癌を告白することが多くなり、そのがんについて瞬く間に情報が氾濫します。その度に、そのがんを心配して医療機関を訪れる方々が一時的に増えるといったことがまま見られます。特に、舌は、自分で鏡に映したり、最近では自撮りして観察できるので、ちよとした変化を心配して受診されることもしばしば見られます。

口の中は、見れば見るほど、起伏に富んでいて対称的でなく、色も均一でなく個人差も大きいので、何かあるのではないかと心配されるようです。大概の場合は、正常な変化の個体差で、われわれ専門家が見れば、「心配ありませんよ」と一笑に付す(失礼)ことがほとんどです。

舌がんは、舌の辺縁(へんえん)にできることが多く、不均一に盛り上がり、潰瘍を伴ったりして、専門家が見れば一目で分かります。局所的なもので、周囲のリンパ節に転移がなければ手術でほとんどが治ります。ごく近傍のリンパ節の転移なら、多少の美容を損なうことを覚悟すれば、手術的に治癒に持つて行くことが可能です。

ただ、早期発見、早期治療はがん治療の大原則であり、そこで対処できれば最小限の侵襲(しんげう)で日常生活に復帰できるので、初期の変化を見逃

さないというのが重要になります。

舌がんになりやすい変化は、舌の横側(よこがわ)縁(へり)で、境界が不規則で、周りと明らかに違って「赤い(紅板症)」か「白い(白板症)」場合です。

全体的に白いか、境界がはつきりしていて滑らかな赤い斑点が表面に点在するというのは問題ありません。「紅板症」「白板」と呼ばれるもののうち、紅い場合はすでに一部がんに化している可能性があります。白い場合はいわゆる前がん状態で、数パーセントがんに化する可能性があるといわれています。また、白だけの場合は、扁平苔癬(へんぺいいたんざん)といわれる免疫異常の病気もあり、直ちに心配しななければいけないということではありませんが、白板症と紅板症が混在している場合はがんの確率が高いといえます。

ただ、この状態で、直ちに命に関わったり、全身に転移するといったことはありませんし、そのような状態になるまで、おそらく数年以上はかかります。この段階であれば、局所麻酔で切り取ることができしますので、安心して専門の医療機関にご相談ください。



診察時間が近づいたことをお知らせする

約30分前
メールサービスを

ご利用ください。
ご希望の方はメルアドを受付へ!!



急患随時受付

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	休診
午後 3:00~6:30	○	○	○	休診	○	△ 3:00~4:00	休診

真崎耳鼻咽喉科医院

TEL.018-845-0234 FAX.018-847-1321 秋田市土崎港中央6-8-3